



木更津高専だより

2025
99号
September



Contents

校長挨拶	1
新任副校長挨拶	2
転入教員紹介、新任教員紹介	3～4
退職教職員挨拶	5
学校行事(新入生歓迎会、新入生研修、体育祭、専攻科スポーツデー)	6～7
高専体育大会結果報告(地区大会・全国大会)	8～9
新入留学生紹介	10
お知らせ	11

高専の“実習”科目に想う

校長 先村 律雄



進路指導をしていたとき、学生からよく質問された一つに“大学進学と高専卒業のどちらがよい(得)ですか”がありました。“それは神様しかわかりません”と返していました。

現実がどうか知りたくなり、来校された企業担当者に“高専卒業と大学卒業の10年後を比較すると、どちらが出世していますか?”と聞くようにしました。皆さん少し驚かれた後、しばらく考え、ほぼ“本人の能力次第です”との回答でした。“大卒です”が1度ありました。分野が違えば回答は変わると思います。

ある企業担当者によれば、新人研修で実習(例:測量作業)をおこなうと、大学卒業生より高専卒業生(大学進学者含む)のほうが優秀だそうです。先に手が動きますとのこと。本校の卒業必要単位の凡そ1/4は実験・実習科目(体育も含む)です。先に手が動く理由を知りたく、本校の実習工場で開催された2日間の特別研修に参加しました。この研修は、汎用旋盤を使ってアルミ製の印鑑ケースを製作するもので、学生実習と同じ内容です。

研修中は、理由を考える余裕がありませんでした。改めて実習を思い出すと、旋盤のレバーを回したときのモーターのうなり音、材料を固定する工具の締めつけ具合、ハンドルを持つ手に感じた削るときの抵抗、削られた金属がリンゴの皮むきのように出現する様子、オイルを塗るときの感触やにおい等、五感(味覚以外)に関することばかりでした。実習が進むに従い旋盤操作も難しくなり脳も鍛えられました。実習は、“脳”と“五感”を同時に鍛える科目なのですね。

もう一つ思い出しました。私の年になっても実習は可能ですが、更なる進化が難しいと感じました。現状維持に大半のエネルギーを使うからです。今回の印鑑ケースの製作は、どんなに頑張っても1日1本です。一方、学生は工夫次第で1日に何本も製作できるでしょう。脳と五感を鍛える時期は、できるだけ若いときです。高専卒業生が、手が動くと言われる理由は、よく練られた教材と手間を惜しまない実習指導により、10代から脳と五感を鍛え続けるからではないでしょうか。

手を動かす“行動力”を身に着けている高専生のみなさん、やらない理由を考える前に、先ず行動です。行動から得た結果から、理論が必要と思ったら、学びです。そして、学んだことを使って、また行動です。どの分野でも同じです。これを繰り返し、未来社会を先導するような人になって欲しいです。

学生主事 岩崎 洋一（人文学系 教授）

令和7年4月に学生主事に着任いたしました、人文学系の岩崎洋一です。

現在、新型コロナウイルスの影響が徐々に収束し、学校生活も通常に戻りつつありますが、学校やその周囲の環境は大きく変化し、社会もかつてない速さで動き続けています。

このような状況の中で、学校に課せられた課題も多くありますが、本校の教育方針である「人間形成」「専門の科学技術の修得」「心身の鍛錬」を柱に、学生の皆さんの安全と安心を最優先に考え、学校運営に携わっていきたいと考えています。学生や教職員の皆さんとのコミュニケーションを大切に、学生の皆さんが自信を持って未来に羽ばたける環境づくりに尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



専攻科長 大久保 努（環境都市工学科 教授）

今年度より専攻科長を務めております、環境都市工学科の大久保です。

専攻科は設立から24年を迎え、各分野の深い専門性と学際的視野を兼ね備えた高度な技術者を多数輩出してきました。学位取得には高い研究力が求められますが、学生たちは柔軟な発想と主体性を武器に、年間100件を超える学会発表や査読付き論文の執筆、さらには各種賞の受賞など、目覚ましい成果を挙げています。専攻科では教員と学生の距離が近く、密度の高い教育・研究活動が日々展開されています。今後も未来を切り開く人材の育成に強い使命感をもって取り組むとともに、地域や社会との連携を一層深めてまいります。本科生が憧れ、社会からも厚い信頼を寄せられる専攻科を、これからも力強く築いていきたいと考えております。



地域共同テクノセンター長 飯田 聡子（電気電子工学科 准教授）

令和7年4月に地域共同テクノセンター長を拝命いたしました、電気電子工学科の飯田聡子です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度は設置20周年を迎えた技術振興交流会のロゴマークが制定され、会社説明会&インターンシップ説明会はキャリアデザインネットワークへリニューアルされました。この機会を捉え、技術振興交流会のさらなる認知度向上を図るとともに、産官学の連携を一層深め、地域社会の発展に努める所存です。副センター長の高橋美喜男先生（機械工学科）、瀬川直美先生（人文学系）をはじめ、運営委員、研究協力・地域連携系の皆さまと力を合わせ、会員企業の皆さま、そして学内教職員の皆さまのお力添えをいただきながら、地域貢献と研究活動の推進に尽力してまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



● 転入教員紹介

電気電子工学科 助教 **八木 麻実子**

2025年3月より、電気電子工学科に着任いたしました。前職は一関高専電気・電子系で教職に就いておりました。

大学ではそれまでの高校物理では扱うことのなかった電子デバイスや量子力学など、新たな概念に興味を抱き、大学・大学院では、電子や原子を精密に制御し、新たな機能を持つデバイス開発の研究に取り組んできました。高専に着任してからは、身近な材料を用いた、環境に優しく、軽量かつ柔軟性があり、低コストで生産可能なデバイス開発の研究にも力を注いでいます。

高専では多彩な学びや出会いの機会が広がっています。ぜひご自身の興味・関心の赴くままに、のびのびと活動してほしいと思います。その際に、ご自身の考えを周囲にうまく伝えることができれば、より多くの支援や協力も得られるはずです。

長いようであつという間の高専生活。一緒に充実した時間を過ごしていきましょう。よろしくお願いいたします。



情報工学科 嘱託教授 **蓬菜 尚幸**

この4月に情報工学科の嘱託教授として着任しました。専門分野は、ソフトウェア工学、情報検索、ケモインフォマティクスなどです。1986年に修士課程を卒業した後、長らく産業界で実務と研究開発に携わり、2012年から定年を迎えるまで茨城高専に勤務してきました。ここ数年は、初めて出会う人と新しいことを始めるより、旧知のかたと昔話をする事が多くなってきていたのですが、今回、新しい環境で、皆さんと一緒に学び、成長できる機会をいただけたことを大変うれしく思っています。これからの時間が、皆さんにとって実り多く、そして楽しいものになるよう、全力でサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



● 新任教員紹介

人文学系 講師 **山本 智美**

今年度より人文学系(国語科)に着任いたしました、山本智美と申します。近現代文学、主に村上春樹文学を研究しています。たまに「村上春樹の小説ってよく分からないんだけど、どんな意味があるの?」と訊かれることがあります。これは難しい問いで、「そもそも文学とは?物語とは?人生とは?」という様々な疑問が浮かび上がります。

村上春樹文学は、過去を語ることで、大切なものを失ってしまった苦しみから回復するというテーマがあります。自らを語ることは、すごく難しい時があります。

話すこと、言葉にすることの重要性を国語の授業を通してお伝えできればと思います。



● 新任教員紹介

基礎学系 助教 小峰 航

2025年4月に基礎学系に着任いたしました、小峰航と申します。授業では数学を担当します。

数学を学んでいると、いくら考えても理解できない、「何故」と感じることがあります。そんなときは、何かを頼ることです。教科書を読み返す、教員や友達に訊く、インターネットで調べる。今やAIだって教えてくれます(ただし、盲信しない!)。大切なのは、今独力で分かることではなく、その本質を理解して自分のものにすることです。

感じた「何故」を大切にしてください。数学が苦手な人は、臆せず「何故」に向き合ってください。得意な人は、その「何故」をもっと深めてください。その一助になればと思っています。ともに学んでいきましょう。



電子制御工学科 助教 渡辺 裕

本年度より電子制御工学科に着任しました、渡辺裕と申します。大学では主に多接合太陽電池という高効率太陽電池について研究をしており、今回が初めての教員としての仕事になります。大学に行くさらに前は何をしていたかという、実は木更津高専に学生として所属しておりました。いま改めて本校に戻ってきて、昔から変わらないところ、新しくなったところなどを目の当たりにして感慨深いものを感じています。高専に限らず、学校という空間での経験は学業だけでなく、人間関係の形成やクラブ活動など、今後の人生を歩んでいくうえで非常に大きな意味を持つものになります。一教員として、皆様の人生がより良いものになるように、全力で皆さんを支えていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いします。



特命助教 野本 京佑

本年度情報セキュリティ人材育成担当特命助教として木更津高専に赴任いたしました、野本京佑と申します。私は昨年度まで東北大学大学院の博士課程に在籍しており、社会人1年目の記念すべき年に本校で職務に携われることをうれしく思います。私は地元の中学校を卒業した後、長野工業高等専門学校に進学し、本科5年間を過ごしました。そのため、高専という普通高校とは異なる校風を持つ「高専」の雰囲気を懐かしく感じます。かつて学生として過ごした高専に教員という逆の立場に戻り、まだ手探りの状態ですが学生の皆様と共に成長しながら教員生活を送っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



人文学系 嘱託教授 篠村 朋樹

1984年4月4番目の学科として電子制御工学科が設置されたことにより、保健体育科3人目の教員として新規採用されました。第3代校長西田亀久夫先生に薫陶を受け、第15代校長先村律雄先生より退職の辞令を受けるまでの41年間の長きに渡り、木更津高専に奉職できたことは、私自身多いなる慶とするところであります。

斯も長い間、無事に勤められたのは、学生および同僚教職員の心強い協力と支えがあったからこそであります。本来ならば、お一人お一人と親しくお目にかかりご挨拶しなければなりません、今となってはそれも叶わず、この場を借りてすべての皆さまに心より厚く御礼申し上げます。特に体育科の清野先生、坂田先生これまで長い間本当にありがとう。また後任の田川先生には、動かない体育のお荷物を最後まで見て頂きました。多謝。

末筆となりましたが、みなさまのご健康とご活躍を心より祈念申し上げます。



情報工学科 特命教授 栗本 育三郎

栗本研究室では、サイバネティクスの考えに基づき、メタ認知機能の解明、身体機能拡張、植物工場の高度化等に取り組んで、数々の学会賞を受賞してきました。令和4年度から3年間、科研費基盤Bの研究代表を務め「XR(リアル／バーチャル)太陽光型植物工場システムの開発」に取り組んできました。本年、国際ジャーナル1件、国内論文誌1件が採択されました。4月からIPU(International Pacific University)Tokyo DXイノベーションコース長 教授として就任し、タイチェンマイ国際会議にKOSEN-KMITLの学生1件、教員1件、千葉大博士課程学生1件、専攻科の学生2件、IPU Tokyo 学生4件の合計9件のテーマが採択されました。今後もサイバネティクス人材育成を国際的に展開したいと考えています。



教育研究支援センター 技術専門職員 嶋野 慶次 (前技術長)

私が木更津高専に就職したのは昭和57年で、学友会館が新営された年です。学友会館にはビリヤードが置かれており、高専教育の寛容さに驚いた記憶があります。

新型コロナ感染症で遠隔授業を余儀なくされた2020年は、短期間での資料作成となりましたが、今まで行っていた授業を総括することができ、とても良い経験となりました。また、創立50周年事業では私が所属していた教育研究支援センターの歴史について取り纏めることができ、記念誌へ足跡を残すことができました。課外活動では、土木系学生によるコンクリートカヌー大会への支援やテニス部の面倒を見させていただき、多くの卒業生や若き学生さんたちと接することができたことは私の財産になっております。ありがとうございました。



学生課 学寮専門員 窪川 友行 (元事務部長)

木更津高専で3年間勤務させて頂きありがとうございました。

気候が温暖で過ごしやすい木更津の地で勤務を終了出来た事は幸運に感じております。これまでの勤務地は、東京→埼玉→東京→千葉→東京→愛知→奈良→茨城→東京→鳥取→静岡→茨城→神奈川→東京→新潟→千葉でした。(ほぼ会計マンでした。)

振り返って見ますと、まあよくもあちこち行った物だと我ながら感心しております。

但し、30年余の結婚生活の半分以上は単身赴任でしたので、子供は妻任せで、良い夫ではありません。(妻には全く頭が上がりません。)この職種は他の方にはお勧め出来ません。

最後に、皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



新入生歓迎会

学生主事補 小川 祐輔

令和7年4月7日に、新入生歓迎会が開催されました。これは、学友会執行部が毎年実施しているイベントで、学友会所属の部や同好会が1年生に活動紹介を行うものです。今年度は総勢36の団体が参加し、1年生に学友会活動の魅力をたっぷりと伝えてくれました。

参加団体による活動紹介は、ステージ発表とブース展示の二本立てで構成されました。ステージ発表では、空手、ダンス、吹奏楽などの実演のほか、大型プロジェクターを用いたプレゼンテーションが行われました。演武中の気合いのこもった掛け声や息の合ったパフォーマンス、工夫を凝らしたスライド発表に、会場からは自然と拍手が起こっていました。一方、ブース展示では、各団体が特色を活かした展示を用意し、1年生を温かくもてなしていました。展示内容は、体験型のものから、1年生との交流をメインにしたものまで多彩で、終始にぎやかな雰囲気が広がっていました。

現在、1年生は多様な団体に所属し、精力的に活動しています。今年度の新入生歓迎会が、その第一歩を踏み出すきっかけとなっていたとすれば、これほど嬉しいことはありません。



新入生研修

学生主事補 小川 祐輔

令和7年4月12日、新入生研修会が実施されました。この研修は、入学したばかりの1年生同士の交流を深め、仲間づくりを促すことを目的としたもので、毎年恒例の行事となっています。研修内容は、グラウンドでの体育活動と、室内での「お気に入りマップ」の2つから成ります。

体育活動では、ボールで球運び、縄通し、ブルーシートリレーの3種目に挑戦しました。いずれの種目も、クラスメイトと協力し合わなければうまく進められない内容となっており、当初は連携が取れずに苦戦する様子も見られました。

しかし、練習を重ねるうちに徐々に息が合うようになり、本番では見違えるほどスムーズに進行していました。「お気に入りマップ」では、自分の好きなものや興味のあることを記入したシートを互いに見せ合い、それをきっかけに自由に会話を楽しみました。お互いをよく知らない学生同士でも自然と話が弾み、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

この研修をきっかけに、1年生が多くの人とつながりを築き、楽しい学生生活を送ってくれることを、心より願っています。



体育祭

学生主事補 小川 祐輔

令和7年5月21日、本校グラウンドにて体育祭が開催されました。本行事は、学生組織である体育祭実行委員会を中心に企画・運営されており、今年度も多くの学生が準備段階から積極的に関わってくれました。

本校の体育祭は、学科対抗で行われます。今年度は、綱引きや学科対抗リレーをはじめとする6つの競技で熱戦が繰り広げられ、電子制御工学科が優勝、機械工学科が準優勝を果たしました。競技を終えた後には、順位にかかわらずすべての参加者に対して、会場全体から温かい拍手が送られました。また、勝敗に関与しない種目である団体対抗リレーも実施され、大きな盛り上がりを見せました。これは、有志の学生や教職員が自由に団体を組んで参加するリレー種目で、参加者たちは、思い思いの服装やパフォーマンスで会場を楽しませてくれました。

当日は、競技時間の延長や学科対抗リレーの再実施など、運営面での課題もいくつか見られました。しかしながら、事後に実施した学生アンケートでは、「これまでの体育祭の中で一番楽しかった」といった声も寄せられ、参加者にとって充実した一日となったことがうかがえました。体育祭実行委員の学生たちには、今回の経験を今後の運営に活かし、さらに円滑で魅力的な行事づくりへとつなげていってほしいと思います。



専攻科スポーツデー

副専攻科長 浅野 洋介

令和7年5月21日、専攻科スポーツデーが開催されました。同日には本科の体育祭も行われており、キャンパス全体が活気に包まれていました。

スポーツデーは、実行委員長と各出身学科の委員を中心に専攻科生自身が企画・運営しました。実行委員会では、専攻科生らしく研究活動にも通じるような論理的な議論を重ね、実施競技やルールが決定されました。最終的に、競技は体育館でのドッジボールと多目的グラウンドでのフットサルとなり、学科対抗形式で熱戦が予定されました。

当日は、実行委員会のメンバーが朝早くから集合して準備に奔走し、イベントは順調にスタートしました。しかし、季節外れの厳しい暑さにより、実行委員会の判断で屋外競技のフットサルは午前中で中止となり、午後は体育館でのドッジボールのみが実施されました。

当初は学科対抗戦として勝敗を競う予定でしたが、フットサルの中止を受けて競技形式をレクリエーション中心に変更しました。午後にはドッジボールに加え、バドミントンやバスケットボールも行われました。バドミントンとバスケットボールは和やかな雰囲気の中で交流が進みましたが、ドッジボールでは最後まで白熱した試合が繰り広げられました。

研究や授業の忙しさから離れ、専攻科生同士が学科の垣根を越えて交流を深める貴重な機会となりました。



令和7年度 高等専門学校体育大会の結果

関東信越地区高等専門学校体育大会(開催期間:令和7年6月21日～7月21日)

競技	種目	順位	選手氏名	
陸上	男子総合	2位		
	男子1500m	1位	関内 悠太 (C4)	
		2位	末松 遥暉 (M4)	
	男子110mハードル	2位	田村 陽 (M2)	
	男子砲丸投	3位	田中 勇翔 (E4)	
	男子円盤投	3位	田中 勇翔 (E4)	
	男子やり投	1位	安藤 俊介 (C4)	
		2位	岡田 卓也 (M2)	
	女子総合	1位		
	女子200m	3位	清水 咲希 (D4)	
	女子800m	1位	松本 理子 (C2)	
	女子3000m	1位	佐久間萩織 (C4)	
		2位	松本 理子 (C2)	
	女子4×100mリレー	1位	中本 絢心 (D1)	高橋 くるみ (J1)
			清水 咲希 (D4)	松本 理子 (C2)
	女子走高跳	2位	中本 絢心 (D1)	
	女子砲丸投	1位	渡来 桃 (E5)	
	女子円盤投	1位	渡来 桃 (E5)	
	女子やり投	2位	渡来 桃 (E5)	
		3位	佐久間萩織 (C4)	
水泳	男子 200m自由形	3位	川崎 陽輝 (J1)	
	男子 800m自由形	1位	川崎 陽輝 (J1)	
野球	-	1位		
テニス	男子シングルス	1位	櫻井 智浩 (E3)	
		3位	佐藤 蒼太 (C4)	
	男子ダブルス	1位	櫻井 智浩 (E3)	佐藤 蒼太 (C4)
	女子ダブルス	2位	松本 咲空 (E3)	田中 陽 (D2)
		3位	菊池 みのり (D3)	村岡 真菜 (M4)
ソフトテニス	男子団体	2位		
	男子ダブルス	3位	土屋 慧真 (D3)	川名 琉生 (M3)
		3位	中村 奏建 (C2)	齋藤 結也 (C2)
	女子ダブルス	3位	小豆澤莉歩 (C4)	江口 里英 (M3)
卓球	男子ダブルス	2位	松下 瑠依 (D4)	中川 晏翔 (D3)
	女子シングルス	3位	菊地 麻耶 (D4)	
	女子ダブルス	3位	小豆澤莉歩 (C4)	菊地 麻耶 (D4)
バドミントン	男子ダブルス	3位	戸田 大地郎 ズッディ (J5)	安 翔菜 (D1)
	男子シングルス	2位	山田 晴大 (C4)	
柔道	男子 73kg 級	2位	神保 天馬 (D4)	
	女子 52kg 級	1位	角田 花音 (C1)	
		2位	中 日里 (C5)	

※個人の結果は3位まで、または全国大会出場選手のみ掲載。団体の結果は、全国大会出場のみ掲載。

第60回 全国高専体育大会で活躍した学生たち

全国高等専門学校体育大会(開催期間:令和7年8月23日～9月7日)

競技	種目	順位	選手氏名
陸上	女子砲丸投	1位	渡来 桃 (E5)

陸上競技部

電気電子工学科5年 渡来 桃(女子砲丸投 第1位/女子総合 第6位)

8月29日、30日、陸上競技部は大分県のクラサスドーム大分で開催された全国高専体育大会に男子6名、女子6名で参加してきました。競技場の各所にミスト扇風機が設置され、日中は3時間程度のクーリングタイムが設けられるなど、様々な暑熱対策が施されていましたが、それでも競技は息苦しいくらいの暑さの中で実施されました。

そんな中、本校陸上競技部は複数の種目で表彰台に立ち、電光掲示板に木更津高専の名前を轟かせてきました。女子は総合で6位に入賞しました。大会に向けて励ましあいながらみんなで練習をして、部員全員で戦った結果です。また、私事になりますが、高専最後の大会で砲丸投に出場し自己ベストで優勝することができました。記憶だけではなく記録を残せたことに感無量です。

私は2年生の時に陸上競技部に入部しました。興味がある方は、いつでも大丈夫なので是非入部してください。必ずあなたに合った種目が見つかるはずですよ。

ご指導いただいた先生方、写真撮影していただいた先生、そして伝統ある陸上競技部OBOGの方々本当にありがとうございました。



NUKMAN SYAKIRIN BIN MOHD MAZHAR

3年生の機械工学科に在籍しているヌクマンです。4月にマレーシアから来ました。趣味はゲームや音楽を聴くことです。日本に来る前に2年ほど日本語を勉強しましたが、まだうまく話せないこともあるので、これからももっと頑張りたいと思っています。留学を決めた理由は、日本の文化や生活に興味があったこと、そして日本で友達を作りたいと思ったからです。日本に来てから4か月が経ちましたが、クラスメートとたくさん楽しい時間を過ごしています。みんなとても親切で、わからないことがあれば助けてくれるし、日本語がうまく話せなくても、ゆっくり話してくれたり、根気よく聞いてくれたりして、本当にありがたいです。これからの3年間、皆さんと一緒にいろいろな思い出を作っていけたら嬉しいです。よろしくお願いします。



ENKHBOLD TSELMEG

こんにちは。モンゴルから来たツェムです。電気電子工学科の3年に編入しました。将来は世界中のエネルギーに関わるさまざまな仕事に挑戦したいと思い、日本の優れた技術を学ぶために留学しました。

高専での学びを通して、日本の文化を体験したり、ラーメンを食べたりしながら、友達と一緒に楽しく勉強していきたいです。



CHOO MING LIANG

はじめまして。電子制御工学科3年生のリアンと申します。今日は自己紹介をさせていただきます。

私は今年の4月初旬にマレーシアから来日しました。趣味はギターを弾くことと筋力トレーニングをすることです。最近は柔道部に入部し、さまざまな技を学ぶのがとても楽しいです。

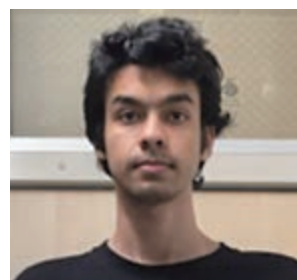
私は木更津高専に来てから、もうすぐ4ヶ月になりますが、日本語は一生懸命勉強しています。ここでは、皆さんがとても親切で、いつも助けてくださるのが本当に嬉しかったです。

まだ分からないことも多いですが、努力を重ねて少しずつ成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



Hosseinzadeh Soureshjani Danial

ホセインザデ ダニアルです。情報工学科3年生(R7新入生)です。数年前ロボットに興味を持ち、プログラミングを学び始めました。その後ゲームが好きだったこともあり、自分のゲームを作りたいと思ってC#を学び始めました。日本はゲーム産業が有名なので、日本で勉強を続けよう決めました。今はゲームだけでなく、ソフトウェアやネットワークなど、IT全般に興味があります。



お知らせ

教職員の異動

<教職員の異動>

■ 新任教職員

(採用)3月1日

八木麻実子(電気電子工学科 助教)

(採用)4月1日

山本 智美(人文学系 講師)

小峰 航(基礎学系 助教)

渡辺 裕(電子制御工学科 助教)

野本 京佑(特命助教)

中村 隼司(学生課 一般職員(学生支援係))

勝 芳未(教育研究支援センター 技術職員)

(配置換え)4月1日

蓬菜 尚幸(情報工学科 嘱託教授)

←茨城高専

尾上 牙子(教育研究支援センター 技術専門職員)

←呉高専

(転入)4月1日

斉藤 慎二(事務部長)

←神戸大学

渡邊 謙克(学生課長)

←千葉大学

■ 退職・転出 ※4月1日～再雇用

(配置換え)3月31日

加田 謙一郎(人文学系 准教授)

→鶴岡高専

(転出)3月31日

満尾 俊一(事務部長)

→日本学生支援機構

町田 雄一(学生課長)

→千葉大学

(退職)3月31日

小澤 健志(人文学系 教授)※

臼井 邦人(電子制御工学科 教授)※

黄野 銀介(教授)※

田所 勇樹(基礎学系 准教授)

原田 健二(環境都市工学科 准教授)

篠村 朋樹(人文学系 嘱託教授)

窪川 友行(学生課 専門員(学寮担当))※

嶋野 慶次(教育研究支援センター 技術専門職員)※

小藤田 淳(業務支援室 一般職員)

今村 進(業務支援室 一般職員)

(退職)4月30日

橋本 英子(総務課 一般職員(研究協力・地域連携係))

(退職)6月30日

岡崎奈央子(特命助教)

名誉教授・叙勲

■ 名誉教授(令和7年4月1日付)

小澤 健志(人文学系 嘱託教授)

臼井 邦人(電子制御工学科 嘱託教授)

■ 叙位(令和7年5月23日付)

田中 整佳(名誉教授)・従四位

■ 叙勲(令和7年4月29日付)

前野 一夫(元校長)・瑞宝小綬章

工藤 敏夫(元校長)・瑞宝小綬章

■ 叙位・叙勲(令和7年9月5日付)

篠村 朋樹(名誉教授)・従四位・瑞宝小綬章

行事予定

9/24(水)	専攻科1,2年/本科4年 後期授業開始
10/1(水)	後期授業開始
10/12(水)	アイデア対決 全国高専ロボットコンテスト 関東甲信越地区大会(ALSOKぐんま武道館)
10/11(土)～12(日)	全国高専プログラミングコンテスト
10/25(土)～11/3(月・祝)	3～5年保護者個別懇談会
10/31(金)	学園祭に伴う休業日
11/1(土)～2(日)	学園祭
11/8(土)～9(日)	全国高専デザインコンペティション
11/9(土)	関東信越地区高専英語弁論大会
11/16(日)	アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト全国大会 (両国国技館)
11/25(火)～12/1(月)	後期中間試験
12/18(木)	マラソン大会
12/23(火)～1/5(月)	冬季休業
未定	専攻科特別研究発表会
1/16(金)	推薦入試に伴う休業日
1/18(日)	推薦入学者選抜
1/20(火)	推薦入試に伴う休業日
1/24(土)～25(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
2/2(月)～5(木)	後期定期試験
2/6(金)	学力入試に伴う休業日
2/8(日)	学力入学者選抜
2/9(月)～10(火)	学力入試に伴う休業日
2/18(水)	終業式
2/19(木)～20(金)	卒業研究発表会
2/19(木)～20(金)	補講期間
2/24(火)～3/31(火)	学年末休業
3/2(月)～3/4(水)	3年生スキー合宿研修
3/19(木)	修了式・卒業式

ロボコン2025

競技課題: Great High Gate

○ 関東甲信越地区大会

■ 開催日: 10月12日(日) ■ 会場: ALSOKぐんま武道館

○ 全国大会

■ 開催日: 11月16日(日) ■ 会場: 両国国技館



保健室より



■ 正しい手洗いで感染症予防を継続しよう

石鹸をよく泡立てて、トイレの後・食事の前・調理の前後・外出から帰宅した時など、忘れずに行うようにしましょう。新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎などには引き続き注意が必要です。

■ 体調が悪い時には登校を控えよう

新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症にかかった、またはその疑いがあると診断された場合は「公欠」となります。(※指定様式の提出が必要です。詳細は学生便覧P.107をご参照ください) 必ず学校(木更津高専教務係 0438-30-4040)へご連絡ください。

学生相談室より



■ 充実した学生生活を送れるようにサポート

相談内容は、相談者の同意なしに第三者へ伝わることはありませんので、安心してご利用ください。保護者の方の相談にも対応いたします。学生相談室は「講義棟A 1階 保健室隣」にあります。

■ カウンセラーへの相談

カウンセラーへの相談は予約制です。相談内容によっては、より適切な機関(専門医)への紹介も可能です。

予約は、保健室 ■ 電 話: 0438-30-4036

■ メール: soudan@a.kisarazu.ac.jp

をお願いします。

対面が原則ですが、ご希望や状況に応じて、電話、Teamsビデオ通話、メールなどの対応も可能です。

■ スクールソーシャルワーカーについて

経済的な問題やご家庭・ご家族のことなど、生活の中で心配や不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

予約は、保健室 ■ 電 話: 0438-30-4036

■ メール: soudan@a.kisarazu.ac.jp

をお願いします。

<令和7年度勤務日(予定)>

10月8日、10月22日、11月5日、11月19日、12月3日、12月17日、
1月7日、1月21日、2月18日

■ 担当カウンセラー

開室時間

月曜日	坂本 容子 先生	12時～17時
火曜日	愛甲 修子 先生	10時～17時
水曜日	愛甲 修子 先生	12時～17時
水曜日(月1回)・	精神科医の	17時～19時
木曜日	大竹 保仁 先生(R7より)	13時～18時
金曜日	坂本 容子 先生	12時～17時

■ スクールソーシャルワーカー

木曜日(月2回)・柴田 裕美 先生 13時～17時

■ その他相談室スタッフ

月～金	加藤 達彦(学生相談室長)	随時
月～金	鈴木 道治(副学生相談室長)	随時
月～金	田村 真弓(看護師)	随時
月～金	森野 加奈(看護師)	随時
月～金	歸山 智治(機械工学科学生相談室委員)	随時
月～金	浅野 洋介(電気電子工学科学生相談室委員)	随時
月～金	義人(電子制御工学科学生相談室委員)	随時
月～金	能城 沙織(情報工学科学生相談室委員)	随時
月～金	島崎 彦人(環境都市工学科学生相談室委員)	随時

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

田中 整佳(人文学系 名誉教授) <令和7年4月25日ご逝去>

篠村 朋樹(人文学系 名誉教授) <令和7年8月9日ご逝去>



独立行政法人国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

ホームページ <https://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第99号 令和7年9月発行

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

☎0438-30-4000